

2025（令和7）年度 活動実績報告書

余市町地域おこし協力隊 秋保 沙央里

■ 広報発信活動

毎月発行される「広報よいち」にて、地域おこし協力隊員の活動を紹介するレポート記事を作成しました。また、協力隊のInstagramにおいても、イベントや協力隊の活動の発信を行いました。



ワインを通じた地域交流&PR (地域おこし協力隊 秋保隊員レポート)

2025年の春から地域おこし協力隊（ワイン産業支援員）として活動している新保隊員と尹隊員。二人は毎週金曜日と土曜日の18時頃から、余市駅前のワインバー「Y'n（わいん）」の店頭に立っています。

Y'nは週末（金・土・日）限定のオープンで、専用サーバーで常時複数種類のワインがグラスで気軽に楽しめるのが特徴。余市産や後志管内のワインを中心に珍しい銘柄も取り揃えています。

金曜日と土曜日に一人ずつ店頭に立ち、ワインをサーブしながら地元の方や余市を訪れる観光客の皆さんとの交流を楽しんでいる二人。新保隊員は「ワインの作り手の皆さんもお店に来られるので、直接お話を聞けるいい機会になっています」と語り、尹隊員は「飲食店での接客は初めてなので勉強になっています。お客様の気持ちに立ってコミュニケーションができるようになりました」と活動を通じた成長を語ってくれました。

お店の方からも「最近海外からのお客様も増えているので、英語・中国語など外国語が話せる二人に手伝ってもらうことができ、助かっています」と喜ばれていました。



▲ 素敵な一杯をあなたに

■ 地域イベントへの参加

・「北海ソーラン祭り」地域おこし協力隊ブースの設置

2025年7月5日に実施された「第57回北海ソーラン祭り」にて、余市町地域おこし協力隊員ブースを設け、子どもたちが楽しめる縁日ゲームを提供しました。



- ・おためし移住ツアーへの協力

2025年10月11日(土)~13日(月祝)に行われた「余市おためし移住ツアー」において、蔓木隊員とともに、ツアー参加者との夕食交流会を行いました。

余市で穫れた魚や野菜などの食材を使って夕飯をツアー参加者とともに作り、食卓を囲みながら余市町での暮らしや地域おこし協力隊の活動についてなどの話をしながら交流しました。



- 学校での講和および授業参加

- ・余市旭中学校

2025年8月29日に旭中学校を訪問し、地域おこし協力隊の活動紹介および余市町の魅力についての講和を行いました。また、生徒の皆さんの学習発表会にも参加しました。

- ・余市紅志高校

2025年10月9日に余市紅志高校を訪問し、地域おこし協力隊の活動紹介および余市町の魅力についての講和を行いました。

- ・余市東中学校

2025年12月25日に東中学校を訪問し、地域おこし協力隊の活動紹介を行いました。また、生徒の皆さんの学習発表会にも参加しました。



■自主活動

・インタビューライティング講座の受講

地域の魅力を直接伝えることができるインタビュー記事は、地域で暮らす人の魅力やストーリーを伝えることで、効果的な情報発信および関係人口の創出につながるツールとなるのではないかと考え、インタビューライティング講座を受講しました。

講座では、インタビューを行うための事前準備から、インタビューの具体的な手法、記事の構成、執筆までの一連の流れを行い、インタビューライティングの基礎を学びました。また2025年3月22～23日に広島県江田島市で実践合宿が行われ、実際に事業者（本屋を経営する方）へのインタビューを行い、このインタビューを基にウェブ記事を執筆。実際の記事作成のためのアドバイスや具体的な修正点などのフィードバック、ライターとして活動するためのメディア理解や心構えなどを学びました。

・対話のイベント開催

様々な人が集うことができる場所づくりを目指すカフェ「カフェダブル」を会場に、月に1回、町民の皆さんが集い対話することができるイベント「哲学カフェ」を実施しました。各回、5～10名ほどの方が集まって「休む」「ケア」などをテーマに対話しました。



・Bokashi市での余市町PR

7月～10月の月1回計4回にわたって（7/27、8/23、9/23、10/26）にわたって、札幌市中心部にあるイベント・コワーキングスペース「Bokashi iBase」で開催されたマルシェイベント「Bokashi市」において、余市町の魅力と地域紹介や「おためし移住ツアー」のPRを行いました。

